

# 室蘭地方気象台からのお知らせ

## 大地震、冬季の備えを！

### ～日本海溝、千島海溝沿いの巨大地震～

冬季に巨大地震、大津波が発生すると、吹雪や積雪により避難に時間を要することや屋外や寒い屋内での避難は低体温症のリスクが生じるなど、積雪寒冷地特有の課題もあり、広範囲で甚大な被害が発生するおそれがあります。また、屋根に雪が多く積もっていると、地震の揺れによる家屋の倒壊や、屋根からの落雪の可能性がより大きくなります。屋根からの落雪は人を巻き込む危険性があるほか、避難路をふさぐ原因にもなりますので、十分に注意しましょう。

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を知っていますか。12月16日で運用開始から1年が経ちます。日本海溝および千島海溝沿いの領域では、過去にマグニチュード6～7クラスの規模の大きな地震が繰り返し発生しており、地震の揺れや津波による被害が発生しています。

この領域で、規模の大きい地震が発生した場合、さらに続いて規模の大きな地震が発生する事例（以下、「後発地震」）が知られています。「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、この領域とその周辺でマグニチュード7クラスの地震が発生した場合に、大規模な後発地震の発生する可能性が平時よりも高まっていることを伝える情報です。この情報は、必ず大きな地震が起こるというものではなく、これまで以上に発生する可能性が高まっているという情報です。もしもこの情報が発表された場合は、1週間程度は後発地震に向けた備えを再確認しましょう。



(室蘭地方気象台  
地震津波防災官  
山崎 仁)

## 内閣府からのお知らせ

「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」に基づき、防衛関係施設等の周囲おおむね1,000mの区域内および国境離島等の区域内の区域を「注視区域」「特別注視区域」として指定することとされていますが、令和5年12月11日に町内の一部の区域を注視区域として指定し、令和6年1月15日(月)に施行する予定です。

**【注視区域】** 安平弾薬支処、熊の頭無線中継所、早来燃料支処を中心とした周囲おおむね1,000mの区域

施行日後においては、指定された区域内の土地や建物で防衛関係施設等の機能を阻害する行為が行われていないか内閣府が調査を行います。詳しくは内閣府のホームページをご参照いただくか、下記内閣府のコールセンターまでお問い合わせください。

内閣府ホームページ <https://www.cao.go.jp/tochi-chosa>

または



こちらから  
アクセスできます

### 問合せ

内閣府重要土地等調査法コールセンター ☎ 0570-001-125 (平日9時30分～17時30分)